



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2025～2026 年度 テーマ

プロバスだよ

第359号

2025 年 10 月 9 日発行

編集・発行 情報委員会

「楽しみ、学び、互助精神、奉仕を通じて輝くシニアライフを！」

第 359 回例会

日 時 令和 7 年 9 月 11 日 (木)

場 所 八王子エルシィ

出席者 32 名 出席率 94.1%

(会員総数 38 名、欠席 2 名、休会 4 名)

1. 開 会

岩島例会副委員長

第 359 回例会開催を告げ、配布資料の確認が行われた。

2. 会長挨拶

持田会長

最近思うことに“不安定なこと”が二つあります。

一つは気象の不安定さです。異常気象ですね。今年は 6 月から大した梅雨もなく真夏のような日が始まりました。史上最高 41.8 度という気温が伊勢崎で出ました。最近では線状降水帯という新しい言葉を頻繁に聞きます。洪水、山火事も日本のみならず世界中で起きております。環境汚染から自然を狂わせているようです。結局は人災の結果のようです。

もう一つは政治の不安定さです。プロバスでは政治の話は厳禁ですのであまり触れませんが、日本では今までの政治体制が崩れ多極化が始まっています。世界でも米国の世界見守り役が崩れつつあり国連が決定してもそれを無視する国がいくつもあります。民衆の何万人が犠牲になっても飢餓に飢えていても自国中心で戦禍を止められない世界になってしまっています。今までにないほど世界中が怖い不安定な政治状況になっています。このような状況において我々ができることは何か？幸い我々はプロバスという集まりの中で子どもたちに夢を抱かせる活動をし



ております。地道であり遠回りかも知れませんがこれらの活動をしながら我々も心の安定を保ち仲間との融和や絆を深めお互いにシニアライフを豊かにさせることにもつなげることができます。些細なことかも知れませんがクラブの活動に参画することが必ず将来を前に進める一歩にもなります。30 周年目を迎える当クラブの変革の年度であることを再度確かめ合い進みましょう。

3. ハッピーボックス披露

丸山副会長からハッピーボックス 23 件の披露がありました。(3～4 ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

9 月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。

(写真左から持田会長、馬場会員、野口会員)



5. 講 話

八王子まっりの今昔

八王子市文化財保護審議会会長 相原 悦夫



夏の風物詩、八王子まつり。今年も大勢の方が楽しめたことでしょう。追分町会長として長年八王子まつり実行委員会に関わっている戸田会員とお手伝いに励んでいる齊藤会員のご紹介で今回は相原先生に八王子まつりの由来についてお話いただきました。

相原先生は八王子の歴史と共に八王子まつりのハイライト、山車の研究の権威でもあります。詳細な資料をご用意いただきましたので、お話と併せて理

解を深めてください。本稿ではお話の概略をご報告します。

江戸時代以来、八王子の町は多賀神社を祭神とする八幡宿、八木宿などの上(かみ)の地域と八幡・八雲神社を祭神とする横山宿、八日市宿などの下(しも)の地域に分かれていて、それぞれに祭礼を行っていました。そして宿ごとに豪華な山車を持ち、競い合う風習がありました。

昭和 30 年代に町村合併があり、新旧市民の交流の場として「八王子市民祭」が開催されるようになります。富士森グラウンド、甲州街道を会場として民謡流し、ミス八王子パレード、商工祭りなどの催しが行われ、その一環として八幡・八雲神社と多賀神社の山車の巡行が加わり、評判を呼びました。

平成 14 年からは八王子の伝統文化としての山車、千貫神輿を中心とした新生「八王子まつり」に改称して今日に至ります。年ごとに工夫を重ね、「氷の彫刻展」や八王子芸妓の「宵宮の舞」、台湾・高雄市のパフォーマンス団、19 台の山車総覧、山車人形の再建など復活と進化は今も続いています。

今年も 8 月 1～3 日の期間中に約 70 万人の来場者がありました。益々の発展を期待します。

(担当 会員・研修委員会 池田ときえ)

5. 委員会・プロジェクトチームの活動報告

(1) 地域奉仕委員会

持田委員長

「第 3 回合唱祭」の開催に当たり募集を 9 月 10 日締め切りにしていた。現在では、市立小中学校の 4 校、都立 1 校、キッズシンガーズ、それに 1 校が検討中。7 校が現在ほぼ確定。昨年 の 1 2 校からすると集まりが少し遅い。今後、昨年出演校に再確認の連絡を入れる。今回は会場がいちょうホールになるが会場費の請求がさっそく届いた。

(2) 30 周年記念事業実行委員会

持田委員長

[宇宙飛行士の講演会]

JAXA 宇宙飛行士は正式に金井宜茂氏に決定した。子供たち 330 名を対象に募集する。9 月中旬の市の広報にて公募する(教育委員会協力あり)。お土産は隕石と星座の定規の 2 点を考えている。費用は宇宙の学校実行委員会で賄う。

[30 周年記念式典]

リーフレットを全国の 44 プロバスクラブへ郵送した(8 月 22 日投函)。ご来賓の方々へも郵送した。また、当クラブとの関係ある各クラブへも配布した。昨日 9 月 10 日、会場の京王プラザホテルへ関係者 7 名で下見に行った。こども科学館の方々にも合流してもらった。受付、ステージ、テーブル配置、座席、胸章、看板など詳細打ち合わせをした。再度の下見を 9 月 25 日に実施予定。会費の入金がゆうちょ銀行、三菱 UFJ 銀行へ共に入り始めている。今までのところ参加者 120 名の予定で計画通り進んでいる。

(3) 交流担当

田中理事

10 月 16 日開催の東京日野プロバスクラブ創立 15 年記念式典・祝賀会のご案内を頂きました。シニア・ダンディーズが出演します。出席を希望される方は申し出て下さい。

6. プロバス賛歌斉唱

7. 閉 会

丸山副会長

本日の例会は出席率 94.1 パーセントとなり馬場例会委員長の言葉を借りるならば近來にない快挙でした。また、本日は相原悦夫先生に「八王子まつり」に関する講話をしていただきました。「八王子市民祭」から「八王子まつり」への改称や「祭」ではなく「まつり」であること の理由などについて興味深く拝聴いたしました。会員からはメディアに大きく取り上げられないのはなぜかなどの質問もありました。大変充実した例会になったと思います。来月も楽しい例会に集まりましょう。以上で本日の例会を終了します。



一プロ野球ファンの自分史

橋本 鋼二

1947～49 年、私が中学生の頃にはまだテレビ放送もなく、プロ野球といっても実際に球場に足を運んだ者は少なかった。それでも、男の子の多くはプロ野球選手にあこがれ、ひいき球団を持つようになっていた。月刊の野球雑誌が回し読みされ、皆いっば

しのファン気取りだった。一番人気は巨人、次が阪神で、そのほかのファンはほとんどいなかった。私は何故か阪急ブレーブスに興味を持った。プロ野球のラジオ中継を聞いたのがきっかけだったようだ。中学一、二年生頃、二リーグ分立前の話である。野球ファンとして少数派の悲哀を味わい続けることになった。二リーグ分立後のテレビ放送は読売新聞系の巨人中心で日本テレビが人気を博し、毎日新聞系の“毎日オリオンズ”を中心としたパリーグは次第に取り残されていった。

1956年秋、農林省の面接試験を受けるために札幌から上京、無事終わった後、巨人対西鉄の日本シリーズ第6戦を後楽園球場で観戦した。チケットはどうやって入手したか覚えていない。球場は日本シリーズというのに超満員というほどでもなかった。巨人全盛といわれた時代に反骨精神溢れた三原修監督率いる西鉄ライオンズが日本シリーズを制した試合である。最高殊勲選手に選ばれた豊田泰光選手は賞品として手にしたトヨタの高級車のボンネット端に腰かけ、球場を一周したのを覚えている。

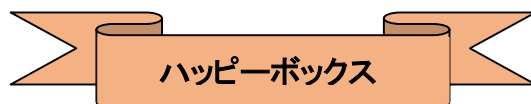
卒業後、農林省の地方研究機関に勤務するようになったので巡業で回ってくるパリーグの試合を勤務先の札幌では札幌ドームができる前の時代の円山球場、秋田では八橋球場に休暇を取ってでも見に行ったものである。上京した折には日程が合えば西武球場にも出かけた。西武球場は屋根ができる前の時代で清原和博選手、デストラーデ選手、松坂大輔投手などの活躍が思い出される。

札幌ドームは私が勤務していた北海道農業試験場の敷地の一部を買収してできた球場である。その敷地の近くで大豆の研究をしていた時代がある。敷地の売却費が北海道農業試験場畑作研究センターの整備につかわれたそうだが私は農林水産省を退職して南米パラグアイにいたので仄聞しただけである。

近年はケーブルテレビに加入しているのでプロ野球の全試合を見ることができる。シーズン中は毎晩“プロ野球ニュース”のような番組もあるので出不精になってもそれなりにプロ野球をテレビ観戦し楽しんでいる。

阪急ブレーブスは、名前や経営体を変えオリックス・バファローズとなったが、変わらずひいきの球団である。西武ライオンズや日本ハム・ファイタ

ーズも憎からず思っている。パリーグファンなのでセ・パ交流戦の時期にはチャンネルを変えながら6試合を熱心にテレビ観戦している。3週間、我慢しながらつきあってくれる日ハムファンの伴侶には感謝している。



◆80年前の終戦の日のことをお話しできいろいろ思い出しました。8人姉弟の7女として生まれ、茶花琴とお稽古事に明け暮れ、現在茶華道人として生きられたこと親に感謝です。阿部 治子

◆30年のつどい大きなイベントがよいよいあとひと月になりました。大成功させましょう。

持田 律三

◆相原先生を迎えることができました。

戸田 弘文

◆未経験の猛暑！あと2週間“お彼岸”。何とか持ち堪えられそうです。橋本 鋼二

◆①ひ孫が歩けるようになって喜ばしい。

②来月90歳になるがまだ歩けるし人の世話にならずに生活できることに感謝感謝。土井 俊玄

◆久し振りに出席してうれしい思いが一杯です。プロバスの楽しさを思い出して早く出席したかったです！！皆様にご迷惑をおかけしました。

土屋三千代

◆皆さん暑い暑い夏を乗り越えて例会に出席できて良かったですね。有泉 裕子

◆私はサッカーの観戦が大好きです。アメリカ戦は2対0で負けましたが惜しいゴールを伊東純也が外して残念でしたが私は伊東純也が大好きです。

飯田富美子

◆白内障手術をしました。まだ完璧ではないですがよく見えます。台所や洗面所の汚れが目立ち毎日、掃除しています。飯田富美子

◆白河と郡山のゴルフ場、奇跡的に晴れて、好スコア！Happyでしたよ。泉 道夫

◆とりあえず、1000円寄附。野口 浩平

◆9月例会は出席率94.1%となる見込みです。近來にない快挙なり。但し事前報告通りならです。

馬場 征彦

◆会長方針（会員交流の活性化）に沿って始めた「グータッチ会」の立ち上がりが不調です。皆様の協力をお願いします。 馬場 征彦

◆9 月に入ってもなかなか暑さが収まりません。この先どうなるのか心配です。 一瀬 明

◆30 周年が来月に迫ってきました。一区切りで気持ちも新たにプロバスに向き合っていきたいと思えます。 一瀬 明

◆シニア・ダンディーズこの秋の初めての活動でNコンフェスに参加しました。平均年齢 88 歳のメンバーの驚きの活動でした。結果が良くて 10 月末頃に上位に入れば全国放送になれます。もしかしてハッピーになれるかも。 立川富美代

◆今年の初物「まつたけご飯」とよく太ったサンマを頂きました。小さな秋をみつけてハッピー！！ 立川富美代

◆クラブ創立 30 周年の事業が来月に迫り準備が大詰めです。持田会長（準備委員長）への協力方をよろしくお願い致します。 杉山 友一

◆全国大会（インターハイ）にて八王子学園八王子高等学校男子バスケットボール部が準優勝しました。決勝戦では両方がワンゴール差でのシーソーゲームでした。 塚本 吉紀

◆八王子学園八王子高等学校の吹奏楽部は東京都のマーチングコンテストにて金賞を。全国大会に東京代表（二校出場）として出場します。応援をよろしくお願いいたします。 塚本 吉紀

◆恒例の「いちよう祭り」11 月 15 日～16 日の 2 日間いつもの場所で開催されます。今回はブラスバンドやクラシックカー 250 台パレードが花を咲かせます。ご来場お待ち申し上げておりますと共に当日お時間がございましたらお手伝いくださいれば有難く存じます。駐車場、弁当を用意させていただきますのでお声をおかけください。

本日は「いちよう祭り」通行手形が完売しました。ご協力ありがとうございました。

岡本 宝蔵

◆松本へ行き稲刈りをしました。豊作です。

丸山 恭

◆ベルーナドームネット裏プライベートボックスでゆったりと西武・オリックスの試合を観戦。

丸山 恭

俳句同好会便り

私の一句（九月の句会から）

河合 和郎

今年の夏は異常気象の連続だった。作品にも悲鳴に近い思いが詠まれている。こうした異常気象の常態化が心配だ。人の営みが環境破壊の一因ともいわれている。心して自然を労わりたいもの。

腕時計はずしてみても秋暑し 飯田富美子

異常な暑さに対して「腕時計を外しても」と表現。気分的には腕時計さえ暑苦しいということか。正に悲鳴に近い究極の表現。

検査結果気づけば今日は良夜なり 馬場 征彦

健康診断の結果は問題なし。いい気分で家路をたどる。気づけば今宵は十五夜。月を愛でつつ一杯やるかの気分。「良夜」が効果的。

種はじく音の不意打ち庭に秋 田中 信昭

種を飛ばす草花がある。カタバミの種は弾けて 1 メートル余りも飛ぶ。中七の「音の不意打ち」が旨い表現。初秋の庭の様子がうまく描けた。

気力緩めば死に至る大暑かな 石田 文彦

今年の夏の異常な暑さを表現して迫力がある。七五五の変形句だが、「気力緩めば」と七文字で強調した表現がこの句の迫力を生んでいる。

さはあれど刻移るらし虫すだく 池田ときえ

暑い暑いといっても九月の彼岸ともなれば季節は移ってゆく。虫たちの鳴く音がそれを教えてくれる。中七はその納得の表現。

客船と競ふて飛ぶや飛魚の群れ 野口 浩平

旅の達人の一句。大海原を客船と飛魚（あご）の並走。船旅ならではの光景。とび魚は 100 メートル以上も飛ぶという。一見したいもの。

チャンバラの友懐かしや秋彼岸 河合 和郎

歳を重ねるにつれ、親族をはじめ友人、知人、幼友達が遠くなってしまふ。老いるとは別れることと背中合わせなのだ。

編集後記

講話の「下の祭り上の祭り、下の地域上の地域」が頭に残り「上京下京、上諏訪下諏訪」などの地名の上（かみ）下（しも）について少し調べようと思いました。

情報委員会

